地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	石川県	事業実施主体	石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町	地域再生計画名	活気とうるおいのある個性的な能登地域づくり計画
計画期間	R3～R7	評価責任者	石川県農業基盤課長、石川県森林管理課長、七尾市土木課長、輪島市土木課長、珠洲市産業振興課長、羽咋市産業建設部長、志賀町まち整備課長、宝達志水町地域整備課長、中能登町土木建設課長、穴水町地域整備課長、能登町建設水道課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況

指標		基準値	基準年度	中間目標値	年度	中間実績	最終目標値	基準年度	中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価
										指標総数	達成数	
指標１	観光交流の活性化による観光入り込み客数の増加観光入り込み客数	1,160万人/年間	R1	1,252万人/年間	R5	869万人/年間	1,344万人/年間	R7	△	4	1	R6能登半島地震により、観光客が減少したことや観光施設から客数のデータ収集が不可能となった箇所もあり、中間目標値を下回り、目標達成が厳しい状況である。
指標２	能登地域における人口流出抑制能登市域の人口	186千人/年間	R1	179千人/年間	R5	174千人/年間	172千人/年間	R7	△			現時点で、中間目標値を下回っており、地震による人口流出の加速も懸念されるが、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
指標３	能登地域における新規就農者数の増加	47人/年間	H21～30平均値	48人/年間	R5	39人/年間	48人/年間	R7	△			中間目標値に達しておらず、能登半島地震により事業の進捗に遅れが生じているが、目標達成に向けて引き続き事業の促進を図りたい。
指標４	間伐材等木材供給量の増加間伐材等木材供給量の増加	54,916m3/年	R1	58,277m3/年	R5	73,560m3/年	62,000m3/年	R7	○			中間目標値に達しているが、能登半島地震により事業の進捗に遅れが生じる可能性もあることから、引き続き事業の促進を図りたい。

②事業の進捗状況

	事業名	整備量（その他の事業では取組内容） 計画	中間年度（R5）	最終実績見込み	事業の進捗状況に関する評価
特別措置を適用して行う事業	広域農道整備事業（整備延長）	2,100m	120m	2,100m	能登半島地震により事業の進捗に遅れが生じているが、引き続き事業を促進し、市町道、林道との一体的な整備により事業効果の発現を図っていく。
	広域農道の保全対策（路線数）	5路線	0路線	5路線	計画路線で完了しているものはないが、最終実績は達成できる見込みである。引き続き事業を促進し安全性の確保を図っていく。
	市道整備事業（整備延長）	38,500m	36,273	38,500m	能登半島地震により事業の進捗に遅れが生じているが、引き続き事業を促進し、計画に則した整備を目指していく。
	林道の保全対策（箇所）	82箇所	38箇所	82箇所	計画路線はいくつか完了しているが、能登半島地震により事業進捗の遅れが生じているいる。引き続き事業を促進し安全性の確保を図る。
その他の事業	白米千枚田あぜのきらめき（輪島市）	輪島市はもちろん奥能登を代表する観光名所「白米千枚田」にて約半年間開催される夜のイルミネーションイベント。特に冬場の閑散期の誘客を目的とし実施。			冬場の閑散期の誘客を目的としており、R3 83,100人、R4 35,800人、R5 22,400人を誘客した。R4は大雪、R5は能登半島地震によりR3に比べ減少したが、今後も事業を継続することで交流人口の拡大及び輪島市の魅力発信に寄与するものである。
	アートツーリズム推進事業（珠洲市）	奥能登国際芸術祭における里山里海の自然環境を活用したアート作品を通して、本市の魅力を発信することにより、交流人口及び関係人口の拡大を図るもの。			2017年より3年に1度奥能登国際芸術祭を開催している。会期以外の期間は、常設作品を活用したツアーの受入れを行っている。令和5年度に開催した「奥能登国際芸術祭2023」には、51,136人が来場。令和5年度の会期外のツアー受入れは、86本2,210人。
	千里浜再生プロジェクト（羽咋市）	日本国内で唯一の車で走れる砂浜である「千里浜なぎさドライブウェイ」の施設保全と利活用推進に関する住民意識の向上を図ることを目的としたイベントを開催。			年１回、地元小学校の児童に参加してもらい、地引網のイベントを開催。「千の綜き」イベントによる一人一砂運動の実施。
	羽咋駅周辺整備事業（交流拠点施設整備事業）（羽咋市）	羽咋市の中心部に位置する計画地において、羽咋駅周辺の一体的賑わい創出に寄与する施設整備を軸とした、駅周辺の活性化と魅力化を図る。			令和５年度末に交流拠点施設（ラクナはくい）の建屋完成、令和６年７月開業向け、外構部分および周辺道路の整備を実施。
	誘客促進レンタカー利用者宿泊助成交付金（志賀町）	石川県・富山県内のレンタカー会社でレンタカーを借り、志賀町内指定の宿泊施設に宿泊した方を対象に、宿泊代金の一部を助成するもの。			H26から事業を実施しており(R3 681人泊、R4 1,331人泊、R5 1,266人泊の助成金を交付) 宿泊者は増加傾向であったが能登半島地震の影響により減少している。今後も継続的に実施することで、交流人口の拡大に寄与するものである。
	繊維産業の未来を担う地域商社プラットフォーム化事業（中能登町）	未来の繊維産業を考える組織「ヤクシる」を中心に繊維産業活性化を加速化させるため、能登上布、どぶろくを用いた商品開発や販路開拓の学生らと連携して、ＳＤＧｓの開発目標に基づき持続可能な産業を目指す。			麻織物と合繊織物を組み合わせた「NEO能登上布」をブランドに商品開発を展開し、代表作は「ひんやり麻マスク」をはじめ作務衣、ブラウスなどを販売中。毎年、国内最大の織物の見本市「ジャパンクリエーション」に出展し、バイヤーとの交渉を通じて織物の町・中能登町のアピールしている。【公式サイト】https://texsil.jp/
	まいもんまつり（穴水町）	四季を通じ食をテーマとした「まいもんまつり」を開催し、農林水産資源の活用や関連イベントの開催など、観光誘客を促進する。			計画に遅れが生じているもの及び令和6年能登半島地震の影響で事業遂行が困難になる場合があるかもしれないが、計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
	農業人材確保・定住促進事業（石川県）	就農相談会開催、インターンシップ等の実施			首都圏等における移住イベントへの出展や、石川県へ移住就農した方をゲストに招いた移住就農セミナーの開催など、きめ細かな情報発信を行うとともに、農業に関心のある方が気軽に参加できる農業法人への見学会や農業インターンシップ研修などを実施。
	森林環境保全整備事業（石川県）	面的にまとまって計画的に行う搬出間伐等の森林施業と、これと一体となった森林作業道の開設を行う。			令和5年度に約79.3mの森林作業道を開設しており、間伐材等木材供給量の増加に寄与している。
	いしかわ森の担い手づくり推進事業（石川県）	県産材の安定供給を目的として必要となる林業就業者を確保するため県外就業希望者の掘り起こしや長期就業体験、新規就業者向けの技術研修等を実施し、林業就業者の定着を図る。			高校への林業出前講座や長期就業体験のほか、チェーンソーの安全訓練や林業就業者の段階に応じた技術研修等を実施しており、近年の新規就業者数は30名台を維持している。
	スマート林業実践対策事業（石川県）	県産材の安定供給を目的として（株）コマツと連携し、ＩＣＴを活用した「スマート林業」の推進により、林業の低コスト化、省力化を実践し、林業→木材生産の振興を図る。			H30からドローン操縦技術者養成事業を実施しており、R5までに66名を養成。今後も資源量調査等の低コスト化、省力化を図るため継続的に実施。
計画外で独自に実施した事業	合宿誘致事業（七尾市）	学生団体がクラブ等により市内の宿泊施設に宿泊した場合、助成金を支給。			H19から事業を実施しており(R3 8647人泊、R4 15465人泊、R5 13507人泊の助成金を交付) 宿泊者は増加していたが能登半島地震の影響により減少した。しかし、今後も継続的に実施することで、交流人口の拡大に寄与するものである。
	修学旅行誘致事業（七尾市）	学生団体がクラブ等により市内の宿泊施設に宿泊した場合、助成金を支給。			H19から事業を実施しており(R3 269人泊、R4 961人泊、R5 705人泊の助成金を交付) 修学旅行生は増加していたが能登半島地震の影響により減少した。しかし、今後も継続的に実施することで、交流人口の拡大に寄与するものである。
	コンベンション・スポーツ大会等誘致事業（七尾市）	七尾市の区域内において開催され、かつ、市内の宿泊施設における宿泊を伴うコンベンション、スポーツ大会に対し補助金を交付。			H23から事業を実施しており(R3 462人泊、R4 813人泊、R5 4305人泊の助成金を交付) 新型コロナウイルスの影響により一時的に減少していたが回復傾向にある、今後も継続的に実施することで、交流人口の拡大に寄与するものである。
	マリンタウン大型客船誘致事業（輪島市）	輪島市の海の玄関ロマリンタウンに大型客船を誘致し多くの観光客を呼び込む。寄港時は「日本一のおもてなし」を掲げ市民総出による送迎行事を実施し観光地としてのイメージアップにつなげる。			旅行会社や船会社への誘致活動、大都市圏での宣伝活動、官民協働での大型客船の歓送迎などを実施しており、R3 0隻 0人、R4 3隻 650人、R5 1隻 400人を誘致した。R3は新型コロナウイルス感染拡大のため全日程中止となったが、今後も事業を継続することで交流人口の拡大及び輪島市の魅力発信に寄与するものである。

③評価方法

R6.8月中に評価委員会を開催し、評価予定

④中間評価の公表方法

各事業主体のホームページに掲載予定

⑤計画全体の総合評価

本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備、農道整備を一体的に行うことにより、地域間のネットワークを強化することで、観光業や農林業の活性化を図ることにより、定住人口を増加させることを目的としている。
現時点において、R6能登半島地震の影響もあり、目標達成の見込みが不明確な状況にあるが、能登地域の復興にも寄与できるよう、引き続き整備を促進していくものである。

⑥今後の方針等

中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
地域再生計画の見直し （ 有 ・ 無 ○）	現段階では検討中であるが、今後、地震の影響も踏まえ、事業展開の見直しが必要になる可能性がある。
令和６年度予算要望額への反映 （ 有 ・ 無 ）○ 有りの場合の増減額 千円	

⑦今後の方針等に対する対応

引き続き、目標を達成できるよう整備促進に努めつつ、被災状況の整理や復興スケージュールを注視し、必要があれば計画の見直しを実施する。